

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民



したが、より高い山、難しい山に挑戦しようと、今回の登山隊に参加を決めました。高度順応など、体調管理が難しく、苦勞し

登山を始めたのは、22歳の時。膝のけがをしてしまい、医師から筋肉をつけた方がいいと勧められたことがきっかけでした。それ以降、多くの山に登ってきました。

昨年5月に、世界的な登山家が率いる登山隊「ヒマラヤキャンプ2018」に参加し、ヒマラヤ山脈の未踏峰「パンカールヒマール」(6264m)の登頂に成功した渡邊さん。「不安もあつたけれど、やっと登り切ったという思いで、本当にうれしかった」と、登頂時の気持ちを振り返ります。

ヒマラヤ山脈の未踏峰に登頂成功

御幸ヶ原町 渡邊 愛理さん



た点多かったといいますが、仲間と一致団結し、「パンカールヒマール」を見事攻略しました。登山の魅力は、「何といても自然。体力の限界まで自分を追いつめたり、ルートや道具の工夫で登頂を目指したりする過程も面白い」と語る渡邊さん。目標があると、積極的に行動できるそうで、「次はスイスのアイガーとマッターホルンに、ガイドなしで仲間だけで挑戦したい」と意気込みます。新たな目標の達成に向けて、渡邊さんの挑戦は続きます。



ページ番号
1014236

外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

今回のテーマは「飛山城跡」

今回は、鎌倉時代に築かれたといわれている「飛山城」の跡地へ行ってきました。アメリカに比べると、日本のお城は歴史が長いので、とても楽しみでした。

まず、とびやま歴史体験館。飛山城跡の模型や発掘調査で出土した当時の生活用品、馬具などが展示されていました。今では使わないような道具を見ることができて面白かったです。とても色鮮やかで立派な小袖と打ち掛けの着付け体験もできました。少しきつかったですが、昔の人はこのような着物を着ていたんですね。

続いて、飛山城史跡公園を散策しました。城跡の周りは、堀や土塁があつて、敵が簡単に入れないように工夫されています。武士の詰所も復元されていて、昔の人がどのように過ごしたのか考えるのも楽しいですね。

飛山城の歴史は興味深く、きれいに整備されている跡地は広くて見晴らしもいいし、散歩するのにぴったりです。今度は友人と訪れたいです。

今回のゲスト



ジャネット ロックさん
(アメリカ)

オレゴン州出身。2000年から日本に在住。現在は、技術翻訳、教会通訳、英会話教師、国際なわとび連盟の役員などの業務に携わる。納豆、すし、天ぷらなど、日本食は何でも好き。餃子は、焼餃子がカリカリしていて好きです。



1 上野とも子さん(飛山城跡愛護会理事)から説明を受けるジャネットさん 2 衣装体験の他、土器や勾玉作り、昔遊びなどの体験もできます 3 飛山城史跡公園からは市内が見渡せ、天気がいい日は富士山も見えますよ。

「飛山城跡」について、3月10日(日)午前10時30分~10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

本文中に記載がないものは、原則として、対象りどなたでも、費用り無料、申込り不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HPりホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、参りつつのみや表参道スクエア、地域コミュニティセンター、活り市民活動センター、申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。